



平成 23 年 8 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社C&Gシステムズ
代表者名 代表取締役社長 山口 修司
(J A S D A Q コード 6 6 3 3)
問合せ先 取締役 管理統括部 部長
大野 聡太郎
(T E L . 0 3 - 6 8 6 4 - 0 7 7 7)

平成 23 年 12 月期第 2 四半期(連結・個別)業績予想との差異に関するお知らせ

平成 23 年 2 月 14 日に公表しました平成 23 年 12 月期第 2 四半期累計期間(平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日)の業績予想に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 第 2 四半期業績予想との差異(平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日)

(1) 連結業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	1,592	22	22	1	0円15銭
今回修正(B)	1,496	61	63	25	2円32銭
増減額(B-A)	△96	38	41	24	—
増減率	△6.0%	166.5%	188.9%	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年12月期第2四半期)	1,452	△23	△4	6	0円54銭

(2) 個別業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	1,365	11	8	△5	△0円53銭
今回修正(B)	1,278	44	71	41	3円75銭
増減額(B-A)	△87	33	63	47	—
増減率	△6.4%	301.5%	704.1%	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年12月期第2四半期)	1,267	△22	△9	4	△0円00銭

2. 差異理由

(1) 連結業績

当第2四半期は、特に中小の金型関連業において、震災等による業績悪化懸念から設備投資を先送り・中止する企業が見られたこと、また金型業界ではプレス金型設計の2次元から3次元への移行が想定ほど進まず、3次元CADの需要が低調だったことから、売上高は前回予想を96百万円下回りました。利益面では、新製品のソフトウェア資産計上額が当初予想を上回ったこと、および労務費の抑制、広告出稿の抑制、展示会出展の中止等により広告宣伝費が予想を大きく下回ったことなどから、営業利益が38百万円、経常利益が41百万円、四半期純利益が24百万円、前回予想をそれぞれ上回りました。

(2) 個別業績

売上高、営業利益については、連結業績と同様の理由であります。経常利益および当期純利益については、営業利益の増益に加え、子会社からの配当金等により経常利益は63百万円、四半期純利益については47百万円、それぞれ前回予想を上回りました。

以 上